

明治美術学会 会員業績録

(2007年4月1日～2008年3月31日)

この夏、会員に対し2007年4月1日～2008年3月31日の間に発表した主要論文等3点以内の報告を依頼した。以下がそのリストである。
なお、よせられたもののうち、上記期間以前の業績については記載したが、以後のものは否いた。リストの作成は喜多孝臣がおこなった。

名前	共著者	論文名/書名	掲載誌/掲載書	発行	巻号	刊行年月
青木茂		新・旧刊案内 30～33	「一寸」	書痴同人	30～33号	2007年4、8、11月、2008年2月
荒井経	共著者他23名	「図解 日本画用語事典」		東京美術		2007年5月
荒井経	共著者他10名	「日本絵画の謎を解く」		東京藝術大学出版会		2007年10月
荒井経	共著者他8名	狩野芳崖筆「仁王捉鬼」の蛍光X線分析による顔料調査報告	「東京学芸大学紀要 芸術・スポーツ科学系」	東京学芸大学	59集	2007年10月
荒屋錦造		グレー＝シュル＝ロワンと日本 —黒田清輝と浅井忠 (“Grez-sur-Loing et le Japon Kuroda Seiki et Asai Chū”)	de Kuroda à Foujita- Peintres japonais à Paris	Fragments International, Paris		2007年10月
荒屋錦造		セガンティーニと堀辰雄 —一九三六年の冬景色	「美術フォーラム21」	美術フォーラム21 刊行会	16号	2007年11月
荒屋錦造		1900年パリ万国博覧会と 黒田清輝の〈湖畔〉	「美術研究作品資料 第5冊 黒田清輝〈湖畔〉」	東京文化財研究所		2008年3月
石井元章		記念碑に込めたヴェネツィアの思い出…長 沼守敬作〈毛利家群像〉についての一考察	「芸術文化研究」	大阪芸術大学大学院	11号	2007年4月
石井元章		明治初期の西洋美術受容	「芸術文化研究」	大阪芸術大学大学院	12号	2008年3月
伊豆井秀一		絵画とは記憶をよみがえらせる窓	「ニューヴィジョン・サイ タマⅢ」展図録	埼玉県立近代美術館		2007年12月
伊豆井秀一		熊谷守一と「心」	「熊谷守一展」図録	埼玉県立近代美術館他		2007年9月
伊豆井秀一		埼玉のすまい4	「スマイル通信」	埼玉県住まいづくり 協議会	26号	2007年1月
稲賀繁美		「伝統工芸再考・京のうちそと」		思文閣出版		2007年7月
稲賀繁美		「フランス近代美術史の現在」 (永井隆則編)		三元社		2007年8月
稲賀繁美		「フィールド・キャラバン計画へ 白川昌生 2000-2007」		水声社		2007年7月
庵原理絵子		置層する〈江戸〉と〈明治〉 —芳年の挿絵を中心に	「浮世絵芸術」	国際浮世絵学会	155号	2008年1月
岩切信一郎		戦中戦後の出版と版画本	「日本の版画V 1941-1950」 展図録	千葉市美術館		2008年1月
岩切信一郎		絵空事師・河野通勢—その挿絵と装幀—	「大正の鬼才・河野通勢」 展図録	美術館連絡協議会		2008年2月
岩切信一郎		大倉書店の形成 —大倉孫兵衛の明治期出版動向—	「大倉山繪葉」特集 大倉孫 兵衛の事跡と思想の研究	大倉精神文化研究所	54輯	2008年3月
植田彩芳子		黒田清輝筆〈智・感・情〉の主題の背景 —ハーバート・スペンサーの美学との関係 から—	「美術史」	美術史学会	163冊	2007年10月
植田彩芳子		夏目漱石の見た文展 —第六回文展評「文展と芸術」を読む	「日展100年」展図録	国立新美術館、宮城県美 術館、広島県立美術館、 富山県立近代美術館		2007年7月
植田彩芳子		戦前における横山大観評価の形成史	「没後50年 横山大観」 展図録	国立新美術館		2008年1月
植野健造		松本英一郎の芸術	「退屈な風景 松本英一郎 展」図録	石橋財団石橋美術館		2007年9月
植野健造		黒田清輝〈湖畔〉の波紋	「美術研究作品資料 第5冊 黒田清輝〈湖畔〉」	東京文化財研究所		2008年3月
江川佳秀		美術の国徳島1 昭和の帝展・文展作家	「徳島県立近代美術館ニユ ース」	徳島県立近代美術館	62号	2007年7月
江川佳秀		薩摩治郎八	「いのち輝く」	(財)とくしま“あい” ランド推進協議会	57号	2008年1月
忍英千鶴子		東京国立博物館の生人形(東京帝室博物館 の歴代服装人形)	「MUSEUM」	東京国立博物館	610号	2007年10月
及川茂		万亭応賀の著作に見る河鍋晩斎の戯画	「アジア遊学」	勉誠出版	109号	2008年2月

及川茂		Postcards by Georges Bigot	DARUMA	ダルマ出版	56号	2007年10月
大谷省吾		裏面から見た戦争記録画	「戦争と美術 1937-1945」	国書刊行会		2007年12月
大谷芳久		行方不明後の(藤牧版画)の足跡(1)	「一寸」	書痴同人	31号	2007年8月
大谷芳久		行方不明後の(藤牧版画)の足跡(2)	「一寸」	書痴同人	32号	2007年11月
大谷芳久		行方不明後の(藤牧版画)の足跡(3)	「一寸」	書痴同人	33号	2008年2月
大貫伸樹		前衛美術の日本上陸と装丁への影響	「芸術至上主義文芸」	芸術至上主義文芸学会	33号	2007年11月
大貫伸樹		根井本を藤で支えた大同出版	「本の手帳」	本の手帳社	4号	2007年12月
大前勝信		福山出身の洋画家、小泉成一について	「ふくやま美術館研究紀要」	ふくやま美術館	4号	2007年7月
岡本隆志		近代の京焼—伝統との共存	「京焼多彩なり—明治から昭和へ」展図録	宮内庁		2007年7月
岡本隆志		近代の京焼にみる中国陶磁摂取の諸相(二)	「三の丸尚蔵館年報・紀要」	宮内庁	13号	2008年3月
五十殿利治		機械美術とヨーヨー—現代芸術考察者・板垣鷹穂の「静観」	「思想」	岩波書店	1000号	2007年8月
五十殿利治		関西「マヴォ」について	「関西モダニズム再考」	思文閣出版		2008年1月
五十殿利治		日中戦争期における雲岡石窟と日本人美術家(1)	「芸術研究報」	筑波大学芸術学系	28号	2008年2月
甲斐繁人		詩画集「邯鄲夢枕」と柳瀬正夢のグラフィズム	「愛媛ゆかり 日本のデザインのパioneerたち」展図録	セキ美術館		2007年11月
加治幸子		「創作版画誌の系譜 総目次及び作品図版」		中央公論美術出版		2008年1月
柏木聖子		国民美術協会および黒田清輝と近代工芸—第8回常展に第4部美術工芸が新設されるまで—	「明日へ翔ぶ—人文社会学の新視点—」	風間書房		2008年3月
金子隆一		Pictorial Photography in Japan	TRUTH BEAUTY	Vancouver Art Gallery		2008年1月
金子隆一		戦後写真小史—「昭和」をとらえた写真家たち	「昭和の風景」	新潮社		2007年4月
河上眞理		美術と政治家—19世紀イタリア王国の国家建設過程から—	「京都造形芸術大学紀要 GENESIS 11 2006」	京都造形芸術大学	11号	2007年9月
河上眞理		イタリア王国の「美術外交」—「美術」という制度の輸出品としての美術学校	「Aube—比較芸術学」	淡交社	3号	2008年3月
河田明久		「日本近現代美術史事典」(多木浩二・藤枝晃雄、他編)		東京書籍		2007年9月
河田明久	針生一郎・榎木野衣・殿屋美香・大谷省吾・平瀬礼太(共編著)	「戦争と美術 1937-1945」		国書刊行会		2007年12月
河田明久		「みる・しる・しらべるコレクション2 高橋由一(鴨園)」(山口県立美術館編)		山口県立美術館		2008年3月
北川太一		フェウザン会次第(6) —さまざまな反省(二)—	「高村光太郎研究」	高村光太郎研究会	28号	2007年5月
北川太一		ハ—と光太郎—そのいのちと愛の共鳴—	「ひびきあう詩の心」(特別展図録)	倉津八一記念館		2007年9月
北川太一		高村光太郎—鮮烈な生の選択	「資料と研究」	山梨県立文学館	13輯	2008年3月
喜多孝臣		昭和戦前期における内田廬の活動—「リアリズム」をめぐる—	「早稲田大学倉津八一記念博物館研究紀要」	早稲田大学倉津八一記念博物館	9号	2008年3月
桑原規子		アーニー・バイル劇場をめぐる美術家たち	「聖徳大学人文学部研究紀要」	聖徳大学	18号	2007年12月
桑原規子		Onchi's Portrait of Hagiwara Sakutarō: Emblem of the Creative Print Movement for American Collectors	Impressions	Japanese Art Society of America	29号	2007年3月
桑原規子		国際文化振興会主催「仏印巡回現代日本画展覧会」にみる戦時期文化工作—藤田朝治を「美術使節」として	聖徳大学言語文化研究所論叢	聖徳大学	15号	2008年2月
向後恵里子		絵葉書ブームにおける版画—一九〇〇年代の視覚メディアをめぐる—	「大正イマジユリ」	大正イマジユリ学会	3号	2008年3月
向後恵里子		東城鉦太郎と日露戦争について	「鹿島美術研究年報」	(財)鹿島美術財団	第24号別冊	2007年11月
向後恵里子		日露戦争と絵葉書	「日本絵葉書会会報」	日本絵葉書会	22号	2008年3月
河野元昭	共著	江戸絵画入門	「別冊太陽」	平凡社	150号	2007年12月

河野元昭		日本文人画と中国憧憬	「尚美学園大学芸術情報研究」	尚美学園大学	12号	2007年11月
河野元昭	共著	「シーボルト日本植物図譜コレクション」		小学館		2008年3月
児島薫		The Changing Representation of Women in Modern Japanese Paintings	<i>Refracted Modernity: Visual Culture and Identity in Colonial Taiwan</i> (Kikuchi Yuko ed.)	Hawaii University Press		2007年
児島薫		文展開設の前後における「美人」の表現の変容について	「近代画説」	明治美術学会	16号	2007年12月
児島薫		奉祝の時代の女性像—昭和初期の美人画の意味するもの	「モダン・ガールズあらわる。昭和初期の美人画展」	島根県立石見美術館		2008年2月
佐々木央		「円人村山機多」		丸善出版サービスセンター(制作)		2007年9月
酒井忠康		「枕草子」に駆られた断章	「国文学」	學燈社	52巻6号	2007年6月
酒井忠康		萩原朔太郎の装幀	「特別企画・萩原朔太郎とデザイン展」図録	前橋文学館		2007年9月
酒井忠康		「若林畫・犬になった彫刻家」		みすず書房		2008年2月
青藤全人		近代富士考—イメージと表現の変遷—	「富士—山を写し、山に想う—」展図録	宮内庁三の丸尚蔵館		2008年3月
迫内祐司		評伝・北村四海	「文星芸術大学大学院研究科論集」	文星芸術大学芸術理論研究室	2号	2007年6月
迫内祐司		東京勸業博覧会と文展創設—北村四海による「露事件」を中心に	「近代画説」	明治美術学会	16号	2007年12月
佐藤温		富商大橋淡雅の文事と時局	「近世文藝」	近世文学会	86号	2007年7月
佐藤温		展覧会カタログ評「近代文人のいとなみ」展	「比較文学研究」	東大比較文学会	90号	2007年10月
佐藤道信		酒と席面は江戸の華	「酔うて候—河鍋晩斎と幕末明治の書画会」展図録	成田山書道美術館		2008年1月
佐藤道信		橋本雅邦—100年の評価について	「没後100年橋本雅邦」展図録	川崎市立美術館		2008年1月
澤田佳三		報道写真と美術	「日本近現代美術史事典」	東京書籍		2007年9月
澤田佳三		作品解説(小磯良平(娘子関を征く)ほか)	「戦争と美術 1937-1945」	国書刊行会		2007年12月
退谷純		川端玉章の研究(一)	「美術研究」	東京文化財研究所	392号	2007年9月
退谷啓夫		「見世物無学」築地小劇場と民衆の見世物小屋	「見世物見世物学会会誌」	新宿書房	4号	2007年11月
重村幹夫		幕末における油画面材に関する一考察—画学局における高橋油—を中心に—	「大学美術教育学会誌」	大学美術教育学会	40号	2008年3月
清水恵美子		岡倉覚三のポストン美術館中国日本美術部経営—美術館教育を中心に—	「文化資源学」	文化資源学会	6号	2008年3月
志邨匠子		アメリカにおける橋本雅邦評価と抽象美術	「近代画説」	明治美術学会	16号	2007年12月
鈴木廣之		「名所風俗図」(日本の美術491)		至文堂		2007年4月
鈴木廣之		名所と旅と風景	「心の風景—名所絵の世界」展図録	静岡県立美術館		2007年11月
鈴木廣之		誰が日本美術史をつくったのか?—明治初期における旅と収集と書き物—	「比較日本学研究中心—研究年報」	お茶の水女子大学比較日本学研究中心	4号	2008年3月
春原史寛		岡本太郎(太陽の塔)をめぐる言説—その受容と評価、日本万国博覧会と美術・建築・デザイン	「藝書」	筑波大学大学院人間総合科学研究科芸術学研究室	24号	2008年3月
高尾曜		竹内生司について	「MUSEUM」	東京国立博物館	608号	2007年6月
高尾曜		印籠蒔絵師「田村壽秀」をめぐる問題	「漆工史」	漆工史学会	30号	2007年11月
高木博志	(共編)	「みやこの近代」		思文閣出版		2008年3月
滝沢恭司		「コレクション・モダン都市文化29巻 構成主義とマヴォ」		ゆまに書房		2007年6月
滝沢恭司		人形座と大正期新興美術運動	<i>The Journal of Art Theory & Practice, Seoul</i>	The Korean Society of Art Theories		2007年12月
滝沢恭司		駒井哲郎 最初期の銅版画について	「駒井哲郎展」図録	白銅製画廊		2008年1月
竹山博彦		詩人木版画家・川上澄生の私的世界	「木版画の詩人・川上澄生展」図録	茨城県つくば美術館		2007年4月
立花義彰		静岡近代美術年表稿 明治編(上)	「静岡県博物館協会研究紀要」	静岡県博物館協会	31号	2008年3月
田中修二		ガンベッタとカフカス人—彫刻を表現する時間	「現代の眼」	東京国立近代美術館	566号	2007年10月

田中修二		戦争と彫刻 1937-1945	「戦争と美術 1937-1945」	国書刊行会		2007年12月
田中修二	坂本雅子	洋画家市川正三 その制作と教育	「東海大学短期大学紀要」	東海大学出版会	41号	2008年3月
田中秀隆		世界と交流する美術工芸	「よくわかる伝統文化の歴史⑤文明開化の日本改造」	淡文社		2007年6月
田中秀隆		「近代茶道の歴史社会学」		思文閣出版		2007年11月
谷口英理		「レオナルド・ダ・ヴィンチの世界」 (池上英洋編著)		東京堂出版		2007年5月
丹尾安典		八重山古陶考	「八重山古陶—その風趣と気韻— 展図録」	早稲田大学 會津八一記念博物館		2007年6月
丹尾安典		いはねばこそあれ —男色の景色 (1回~3回)	「新潮」	新潮社		2008年1~3月
丹尾安典		視覚のなかのアイデンティティー〈個〉の 表現と〈公〉の表現	「美術教育」	日本美術教育学会	291号	2008年3月
角田拓朗		美人圖から風俗圖へ 竊木清方の官展再生論	「近代画説」	明治美術学会	16号	2007年12月
手塚恵美子		資料紹介 和田英作日記 [1921年8月16日~ 1922年2月7日]	「近代画説」	明治美術学会	16号	2007年12月
手塚恵美子		和田英作と装飾美術	「鹿島美術研究年報」	(財)鹿島美術財団	第24号 別冊	2007年11月
寺門寿明		五百城文蔵の久慈郡遊歴	「常陸の社会と文化」	ペリかん社		2007年12月
寺門寿明		活性化された画面 —小山利枝子の作品について	「小山利枝子展」パンフレット	アートワークスギャラリー		2007年10月
戸張泰子		上村松園「焔」についての一考察	「明日を拓く日本画「堀越泰次郎記念奨励学基金」奨励学生作品集」	「堀越泰次郎記念奨励学基金」 奨励友親子		2007年10月
新聞公子		パリ留学と日本洋画の歩み (I 黒田清輝の パリ留学時代 II 美術学校西洋画科と白馬会 の設立、1900年パリ万博参加とその影響)	「パリへ—洋画家たち百年の夢」展図録			2007年4月
新聞公子		セザンヌの水彩・素描 (草刈り人) (西洋 画1015)について	「東京芸術大学大学美術館年報」	東京芸術大学大学 美術館	平成17- 18年度号	2008年3月
新聞公子		「森鷗外と原田直次郎—ミュンヘンに芽ば えた友情の行方」		東京藝術大学出版 会		2008年2月
野呂昭子		フランス・イギリスにおける雷舟の認識を めぐって—1860年代から1920年代まで—	「日本女子大学人間社会研究紀要」	日本女子大学	14号	2008年3月
芳賀徹		姉を悼む老詩人—ポール・クローデル「わ が姉カミーユ」から	「二人のクローデル」展図録	川口市アートギャ ラリー		2007年4月
芳賀徹		夏目漱石の美しい小島—「水日小品」の一 篇「昔」を読む	「GENESIS (京都造形芸大紀要)」	京都造形芸術大学	11号	2007年9月
芳賀徹		「生の藝術」としての茶の湯	「茶の湯—大和文庫館のコレクションより」展図録	岡崎市美術館		2007年10月
原田平作		作家として立つまでとその後の展開 —愛媛・東京・京都・大阪—	「愛媛感動の美術家たち・第2期、大正から戦前の昭和の美術家たち、中央と地域での活躍と足跡」	セキ美術館		2007年5月
原田平作		京都の美術をさらに力強くするために —「美術鑑賞」考・「岡倉天心と柳宗悦」 考—	「伝統工芸再考、京のうちそと、過去発掘・現状分析・将来展望」(稲賀繁美編著)	思文閣出版		2007年7月
原田平作		竹久夢二の日本美術史上の位置と抒情的	「美術フォーラム21」	醍醐書房	16号	2007年11月
チェルシー・ フォックス ウエル (Chelsea Foxwell)		Dekadansu:Ukiyo-e and the Codification of Aesthetic Values in Modern Japan,1880- 1930	<i>Octopus:A Visual Studies Journal</i>	University of California, Irvine	3号	2007年
舟木力英		川上澄生の作品—受け容れられない愛のモ ティーフ	「木版画の詩人 川上澄生」 展図録	茨城県つくば美術 館		2007年4月
古田亮		イメージからテキストへ 横山大観の富士をめぐる宮説	「イメージとテキスト」	ブリュッケ		2007年4月
古田亮	毛利伊知郎他	「日本彫刻の近代」		淡文社		2007年8月
古田亮		評伝横山大観	「没後50年 横山大観」 展図録	朝日新聞社		2008年1月
増野恵子		志賀重昂「日本風景論」の挿図に関する報 告	「非文字資料から人類文化へ—研究者参画論文集」	神奈川大学21世紀 COEプログラム 「人類文化研究のための 非文字資料の体系化」 研究成果報告書		2008年3月

松岡智子		「ニュー・ミュージアム」(ミミ・サイガー著) 松岡訳		鹿島出版会		2007年4月
クリストフ・マルケ (Christophe Marquet)		浅井忠の図案における業績	「花美術館」	蒼海出版	3号	2007年8月
クリストフ・マルケ (Christophe Marquet)		19世紀後半のフランスにおける日本美術史学の黎明期	「比較日本学研究中心研究年報」	お茶の水女子大学	4号	2008年3月
三上美和		日本美術協会主催「歴史風俗画展覧会」について	「明日を拓く日本画」堀越泰次郎記念奨学基金「奨学基金」堀越友規子学生作品集			2007年10月
宮下規久朗		「カラヴァッジョへの旅」		角川学芸出版		2007年9月
宮下規久朗		「モディリアーニ モンパルナスの伝説」		小学館		2008年3月
宮下規久朗	橋本治	「モディリアーニの恋人」		新潮社		2008年3月
村田隆志		「釈迦三尊像」と「動植綵絵」の124年 相国寺を狂嵐し続けた日々	「若冲展一釈迦三尊像・動植綵絵120年ぶりの再会」展図録	日本経済新聞社		2007年5月
村田隆志		近世日本の文人と唐筆「唐筆一式」をめぐる	「書斎の美学一文房具の楽しみ」展図録	静嘉堂文庫美術館		2007年10月
村田隆志		千菅道人 木村陽山とそのコレクションをめぐる	「THE筆一木村陽山コレクション」展図録	筆の里工房		2007年11月
村角紀子		美術専門出版社 審美書院	「みやこの近代」(丸山宏・伊従勉・高木博志編)	思文閣出版		2008年3月
村角紀子		藤岡作太郎と「近世絵画史」	「みやこの近代」(丸山宏・伊従勉・高木博志編)	思文閣出版		2008年3月
森登		銅・石版画万華鏡 1~7	「日本古書通信」	日本古書通信社		2007年9月~ 2008年3月
森登		幼年枝生大山助市の石版画	「一寸」	書齋同人	30号	2007年4月
森登		キヨソネ作〈明治天皇〉制作ノート	「一寸」	書齋同人	31・32号	2007年 8、11月
森仁史		「叢書 近代日本のデザイン」明治篇全9巻		ゆまに書房		2007年11月
森仁史		Isamu Kenmochi and Isamu Noguchi The Meeting and Its Meaning	Design: Isamu Noguchi and Isamu Kenmochi	Five Tie.NY		2007年9月
森仁史		「建築の記憶」pp 12-15		東京都庭園美術館		2008年1月
森芳功		日本の絵画と紙について	「日本画一和紙の魅力を探る」展図録	徳島県立近代美術館		2007年11月
安永幸一		「福岡市美術館書庫4 吉田博資料集一明治洋画新資料」(編纂と論文)		(財)福岡市文化芸術振興財団		2007年12月
安松みゆき		ドイツ第三帝国下の日本美術史研究とユダヤ人研究者	「別府大学大学院紀要」	別府大学大学院	10号	2008年3月
安松みゆき		ベルリンとミュンヘンにおける日本美術観と蒐集機関	「別府大学紀要」	別府大学	49号	2008年3月
柳沢秀行		児島虎次郎のサロン・ナショナルと帝展への出品作と紙製張子額	「児島虎次郎一紙製張子額の謎にせまる」展図録	加計美術館		2007年12月
山浦健夫		尾竹三兄弟展によせて	「第3回尾竹三兄弟展」展図録	新潟市湯東歴史民俗資料館		2007年9月
山本佐恵		サンフランシスコ万博博覧会日本古美術展覧会一美術展示と植民地	「藝叢」	筑波大学大学院人間総合科学研究科芸術学研究室	24号	2008年3月
山領まり		重政堂田舎作品修理報告・セルマニヤ廊中之図ほか	「平成18年度東京国立博物館文化財修理報告」	東京国立博物館	VI	2008年3月
横山大観記念館(池田博子)		近代日本画家による東南アジアに取材した作品およびスケッチについて	「横山大観記念館館報」	財)横山大観記念館	23号	2007年8月
横山大観記念館(佐藤志乃)		近代日本画家の「支那」イメージ一蘇州を描いた作品を中心に一	「横山大観記念館館報」	財)横山大観記念館	23号	2007年8月
横山大観記念館(佐藤志乃)		「腫脹体」と呼ばれた試みについて一描写方法を中心に一	「没後50年 横山大観」展図録	国立新美術館、朝日新聞社		2008年1月
吉嶋真弓		1930年代初頭の二科展における島あふひのモダニズム一メカニズム、グロテスク、新即物主義	「芸術学研究」	筑波大学大学院人間総合科学研究科	12号	2008年3月

[明治美術学会 会員業績録 2007年4月1日～2008年3月31日]

吉田千鶴子	(共編著)	「岡倉天心—芸術教育の歩み—」展図録		芸大・岡倉天心展実行委員会		2007年10月
吉田千鶴子		紅一点	「芸大通信」	東京藝術大学	16号	2008年3月
吉田千鶴子		古田土雅堂・アメリカの日本人	「美術運動史研究会ニュース」	美術運動史研究会	88号	2007年8月
芳野明		「高橋由一履歴」を読む	「京都嵯峨芸術大学紀要」	京都嵯峨芸術大学	33号	2008年3月
脇田美央		Abbild und/oder Wirklichkeit? "Samurai" in der westlichen kommerziellen photographie des späten 19. Jahrhunderts	Kat.Ausst.Samurai	Historisches Museum der Pfalz Speyer		2008年3月
渡辺一郎		〈湖畔〉診断書	「美術研究作品資料 第5冊 栗田清輝〈湖畔〉」	東京文化財研究所		2008年3月
渡部周子		「〈少女〉像の誕生—近代日本における「少女」規範の形成」		新泉社		2007年12月